



みつなり通信



(10/24 UNRWAクレハシビューン事務局長と)

公明党 衆議院議員
岡本三成
Mitsunari OKAMOTO



公明党・宣伝局長に就任！



本年9月に、公明党の宣伝局長の大役を命じられました。党の政策や実績をどう国民の皆さんにアピールしていくか、就任以来、毎日考えています。是非、皆様のご意見をお寄せください。

特に、新選挙権を得た若い層にどのような形で政策を訴えていくのか、これまであまり繋がりのなかった層へ、どのようなアプローチができるかなど、党をアピールする方策を真剣に検討していきたいと思っています。

また、公明党が与党として政策立案していくプロセス等が、より「見える化」していくことも重要です。公明党の支持率倍層を目指して、党宣伝局の職員のメンバーとともに全力投球で取り組んでまいります！

次期米国大統領に、 トランプ氏！



11月8日の米国大統領選挙で、共和党トランプ氏が民主党クリントン氏を抑えて劇的な勝利を収めました。米国政治に変化を求める選挙民の、強い意志の表れと受け止められています。今後、トランプ氏の対外政策がどうなるのか、まさに世界が注目しています。

実は私は、ゴールドマンサックス勤務時代に、仕事で彼と2度お会いしています。極めてクレバーな印象は、今もはっきり覚えています。今後の日米同盟関係の一層の強化に向けて、私も微力ながら尽力してまいります。

「トランプ氏は数字に強い人」
面識ある公明・岡本氏
公明党の岡本三成衆議院議員は9日、本紙の取材に対し、米金融大手ゴールドマン・サックス勤務時代にトランプ氏と仕事をした経験があることを明かした上で、「数字に強くて頭が良く、スマートな人だった」と振り返った。
岡本氏は二〇〇〇年ごろ同社でトランプ氏の不動産会社の財務アドバイザーを務めた。同社に所属するトランプ氏について「資料の数字が示す実現可能性や失敗の危険性を、きちんと読み取っていた」と話した。トランプ氏は当時から米国が一番どの哲学を持ち、国内にビジネスを集中させていたと指摘。大統領就任後は「米国企業が仕事をしやすい環境作りに全力を尽くすだろう。経済はつながってありマクロ的には日本経済にも良いことだ」と語った。
在日米軍の駐留経費問題や日本の核武装を容認する発言については「情報共有が進めば日本の考え方を理解してもよめるはずだ」と述べた。

(東京新聞 2016年11月10日付2面)

【岡本三成プロフィール】



衆議院比例区
北関東ブロック(2期目)

- 1965年 佐賀県鳥栖市生まれ
- 1984年 佐賀県立鳥栖高校卒業
- 1988年 英国グラスゴー大学留学
- 1989年 創価大学卒業
- 1989年 シティバンク勤務
- 1998年 米国ケロッグ経営大学院修了
経営学修士号(MBA)取得
- 1998年 ゴールドマン・サックス証券勤務
- 2005年 同社執行役員
- 2012年 衆議院議員に初当選
- 所属 外務委員会理事
TPP特別委員
震災復興特別委員
- 公明党 広報委員会 宣伝局長
国会対策委員会副委員長
国際局次長
SDGs推進委員会事務局長
- 住まい 埼玉県所沢市
- 家族 妻と二女

<発行元>

公明党 衆議院議員 岡本三成事務所

【国会事務所】

〒100-8981 東京都千代田区永田町2-2-1
衆議院第一議員会館1005号室

TEL:03-3508-7147

FAX:03-3508-3637

【所沢事務所】

〒359-0046 埼玉県所沢市北所沢町2268-2
リラリエール201号室

【Facebook】 www.facebook.com/okamoto.office

【Website】 www.m-okamoto.jp

【Twitter】 @OkamotoOffice

【Eメール】 office@m-okamoto.jp

【メルマガ】 登録<http://nippon-saiken.jp>

こちらのQRコードからもご登録いただけます▶



臨時国会ハイライト

10月25日のTPP特別委員会では、参考人質疑が行われ、慶応義塾大学教授の渡邊頼純教授に対し質疑。その中で私は、TPPをめぐる国会審議では、より消費者目線に立った議論を深めるべきだと主張し、渡邊教授から賛同を得ました。

10月26日の外務委員会では、岸田外務大臣に対して、外国の要人来日の際には、広島・長崎を訪問して頂く要望をすることと、日本政府側要人がその訪問に同行することを求めました。

更に、本年5月にオバマ大統領が広島を訪問されたことを受け、次は大臣が真珠湾を訪問し、献花することを提案。そして、次期米大統領にも、広島・長崎を訪問していただけるよう、オバマ大統領に要請して頂くことを求めました。

私の質問を受け、ナバルザエフ・カザフスタン大統領の広島訪問（11/9）には、初めて、武井外務大臣政務官の同行が実現しました！



10/27 TPP特別委員会

米国商工会議所メンバーと懇談

在日米国商工会議所の皆さんが事務所へ来訪（10/15）、TPP協定やアメリカ大統領選挙等について、英語で熱くディスカッションしました。

日米のビジネス環境の違いも話題となり、「日本の課題は、起業家醸成の環境づくりだ！」との意見で一致。日本の国際競争力を高められるよう、全力で働いて参ります！



TPP関連法案成立へ

TPP条約関連法案が11月10日衆議院を通過しました。

TPPは、21世紀のアジア太平洋をフェアでダイナミックな一つの経済圏にするもので、これにより世界のGDPの約4割、人口の1割強を占める巨大な経済圏が誕生します。

世界銀行試算によると、TPP参加の12か国中で、圧倒的に大きなメリットを受けのが日本です。（下表参照）。

私はTPP特別委員会の総括質疑において（10/27）、「食の安全を大前提として、関税が撤廃され、輸入品の価格が低下し、消費者の選択肢が広がるのが、国民にとって最大の利点」であると訴え、TPPが国民の消費生活をより豊かにすることを安倍総理に確認しました。

さらに、輸入拡大の影響を受ける日本農業の支援について、「農家所得の向上が最重要」との視点から、農業経営のアドバイスや、ITとの融合など、政府の今後の対策をただし、更に尽力することを求めました。

また、中小企業・小規模事業者の、海外展開を支援するための「新輸出拡大コンソーシアム」を紹介し、丁寧な対応を求めました。

2030年までのGDP押し上げ効果(世界銀行試算)

TPP参加国	押し上げ効果 (兆円)	押し上げ効果 (%)	2014年のGDP (兆円)
日本	13.1	2.7	486.7
米国	7.3	0.4	1,837.2
マレーシア	2.9	8.0	35.8
ベトナム	2.0	10.0	19.7
カナダ	2.3	1.2	188.9
メキシコ	1.9	1.4	137.4
オーストラリア	1.1	0.7	154.1
シンガポール	1.0	3.0	32.2
ニュージーランド	0.7	3.1	21.2
ペルー	0.5	2.1	21.5
チリ	0.3	1.0	27.4
ブルネイ	0.1	5.0	1.8

※世界銀行とピーターソン国際経済研究所による調査を基に岡本三成が作成

パレスチナ難民支援拡充に、一層の努力を!

パレスチナ難民救済事業機関（UNRWA）の、ピエール・クレンビュール事務局長が来日され、山口代表等と共に懇談しました（10/24）。

未来ある若者が希望を持てるように、同事務局長と、教育や職業訓練の実施の重要性について語り合いました。

昨年9月に、パレスチナ自治区ガザを訪問して以来、パレスチナ難民をはじめとする中東難民、特に青少年への支援の拡充に全力で取り組んできました。今後も、継続的な支援実現に尽力します。



SUSTAINABLE GOALS 2030 持続可能な開発目標 SDGs推進委員会

10月24日、公明党・SDGs（持続可能な開発目標）推進委員会を開催し、SDGs実施指針の骨子について外務省を中心にヒアリングを実施しました。山口代表も出席し、NPOや民間セクター、国連機関の代表の方々からご意見を伺いました。

私は、委員会の事務局長として、SDGsの実施指針に、関連団体の皆様のご意見が十分反映され、世界をリードできる内容となるように全力で働いてまいります。

